

地域医療を守る

庄原赤十字病院が増改築を決定

庄原赤十字病院は、耐震基準に対応した病院とするため、平成25年度の完成をめざし、本年11月から増改築工事に着手します。新たに西棟を庄原市民会館駐車場に建設。また、現在の療養病床や外来受付のある北棟や中央棟は解体し新しい北棟を建築します。

市は、安心社会実現のため、市民会館駐車場を減額して貸し付けるとともに、総事業費59億円のうち、国の交付金や自己資金を除く借入金42億円の一部に対して財政支援を予定しています。

庄原赤十字病院の増改築工事とその周辺で整備する市の事業の概要をお知らせします。



増築棟北東側イメージ (県道沿い敷地出入口より)

庄原赤十字病院が描く 将来ビジョン

Future vision

増改築工事をきっかけに、今後どのような病院を目指すのか。庄原赤十字病院が描く将来ビジョンに迫ります。

診療科の維持

診 療科は現在の14科を維持。また、出産医療を休止している産婦人科は、3年以内の再開をめざします。病床数は、療養病床が9床減り、310床から301床になります。

医師・医療スタッフの確保

常 勤医師、検査スタッフ、看護師などの確保と充実に努め、現状より10人のスタッフ増を目標とします。

診療体制の充実

循 環器内科について、CT、MRIなどの医療機器の整備、検査部門の強化によって、医師・患者負担の軽減と診療体制の充実を図り、備北二次保健医療圏域(三次市・庄原市)における拠点性を発揮します。

救急医療機能の発揮

救 急車が2台、3台と続けざまに到着する場合にも対応できる救急外来とします。オペ室については、現在の3室から4室に拡張します。

医療連携体制の継続

備 北二次保健医療圏域内の高齢者比率の上昇は継続すると見込まれ、三次中央病院や西城市民病院と、脳血管疾患、急性心筋梗塞、二次救急医療をはじめ、手術時の医療スタッフ応援連携や術後の入院治療連携など医療連携体制を継続していきます。

感染症への対応

新 型インフルエンザなど、感染症の大規模な流行に対応できる診療機能を整備し、第二種感染症病室を設置する予定です。

庄原赤十字病院が抱える 4つの課題

Four problems

なぜ、この時期に増改築工事をするのか。庄原赤十字病院が抱える課題を明らかにし、その理由を探ります。

1 診療機能が分散

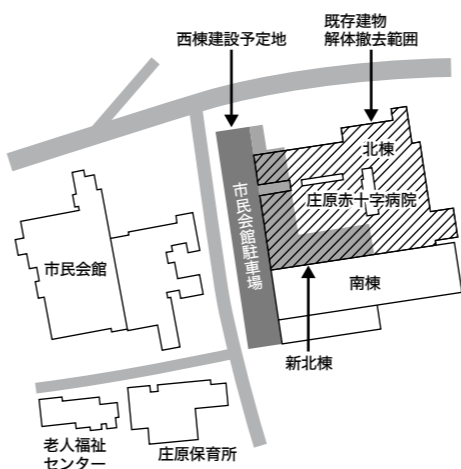
昭和18年の開設以来、増設をしてきたため、診療機能が分散されて効率が悪く、分かりづらく不便な構造となっています。また、スペースが狭いため、日常の診療や日々進歩する医療への対応が困難になっています。

2 建物の地震に対する不安

昭和40年代から50年代前半に建築した建物は新耐震基準を満たしておらず、この建物内に救急処置室や内視鏡、CT、MRI、カテーテル室、手術室などの主要な検査治療機能があります。そのため、患者と職員の安全性を確保し、安心して医療を提供できる施設整備が急務となっています。

3 地域中核病院としての機能確保

市内には他に救急・高度医療に対応できる病院はないため、「庄原赤十字病院の機能充実を図ってほしい」とい



みんなに親しまれる医療環境づくり

施設整備の概要

平成6年に建設した「南棟」を除き、耐震強度が不足している外来・診療棟など7棟を解体します。現在の市民会館駐車場を借地し、新たに外来・療養病棟となる「西棟」と、診療棟となる「北棟」を建設します。

西棟は地上7階地下1階、北棟は3階建て。1階は外来と薬局、2階は外来と検査室、3階は手術室とリハビリ室、4階は療養病床、5階と6階は事務室や会議室を設けます。外来食堂は眺望の美しい最上階の7階に置きます。

バスの乗り入れができるロータリーを設置。また、エスカレーター、エレベーターの併用により安全性と移動性を確保し、高齢者などの負担を軽減します。

1階のエントランスホールは、待ち時間を快適に過ごせるように開放的で明るい吹き抜けを設け、大規模災害時に医療活動が行えるよう整備します。病院売店は、院外の地域住民も利

う強い声があります。また、市民の高齢化に伴い心疾患、脳血管疾患などの循環器疾患は急速に増加しており、十分な対応が期待されています。

4 診療環境整備による医師確保

大学医局からの医師派遣に依存しており、常勤医師の確保と維持が非常に厳しい状況です。また、勤務する医師からも設備面での課題が指摘されています。今後、大学医局との良好な関係を維持しつつ、医師の診療研究施設や症例検討のための会議室、医療機器など、設備や診療環境を早急に整備する必要があります。

用ができるコンビニ形式を計画し、入院患者と地域住民の利便性を図ります。

医師・看護師の会議や研修スペースを十分に確保し、医師・看護師などから支持される環境確保に努めます。また、託児所の設置を検討し、医師や看護師への職場復帰や勤務環境の向上に配慮します。

工事スケジュール

場所	期間
西棟 建築工事	平成22年11月～平成24年1月
既存棟 解体工事	平成24年2月～6月、平成25年5月～9月
北棟 建築工事	平成24年6月～平成25年3月
駐車場他 環境整備工事	平成25年9月～平成25年12月



工事予定 24年度 保健センター整備
概算事業費 3,200万円

【市の計画事業概要】
庄原赤十字病院周辺では、市の後期実施計画に計上していた「市民会館駐車場整備」や「庄原保育所移転整備」などを、庄原赤十字病院の増改築工事と合わせて整備します。

市民会館駐車場整備

市民会館の駐車場を、庄原赤十字病院の「西棟」建設用地として貸し付けすることに伴い、現在の庄原保育所と庄原市老人福祉センターを移転し、その跡地に新たな駐車場を整備します。新しい駐車場が完成するまでの間は、旧江の川総合開発事務所跡地（庄原税務署の隣）を代替えの駐車場とする予定です。



工事予定 24年度 造成・整備計画
25年度 庄原保育所・庄原市老人福祉センター解体撤去、駐車場造成整備
26年度 市民会館駐車場供用開始
概算事業費 1億5,416万円

庄原保育所移転整備

現在の庄原保育所は、昭和53年度に建築されたもので、すでに31年が経過



工事予定 22年度 用地取得、造成設計、基本設計実施設計着手
23年度 造成工事、基本設計実施設計完了
24年度 建築工事
概算事業費 6億8,340万円



しており施設の老朽化も進んでいきます。また、耐震強度が十分ではないことや、入所児童数に比べ園舎や園庭が狭く、専用駐車場もないなど、課題を抱えてきました。

移転先は、庄原市土地開発公社が住宅用地として先行取得していた庄原市シルバー人材センター（三日市町）を予定しています。

【インタビュー】

**交付金のある
今がチャンス**



庄原赤十字病院 院長 中島浩一郎

当病院が抱える諸課題を解決し、市民の皆さんが安心して暮らせる高いレベルの医療提供を維持・向上させていくためには、早急な増改築が必要であると感じていました。しかし、概算事業費59億円を当

院のみで負担し、整備することは困難です。そんな中、国の医療施設耐震化臨時交付金事業が設けられました。この事業を活用することにより、11・9億円という従来の補助事業に比べ、非常に有利な交付金を受けられることができ、この機会を逃しては、今後当分の間、諸課題を解決するための施設整備は困難だと判断しました。

さらに、広島大学病院や日赤本社をはじめとする関係機関に対して、あるいは市民の皆さんに、当院が将来的にわたって、庄原市の救急医療・高度医療を担う中核病院としての機能を果たしていく意思を強く表明し、理解をいただく最適な機会と捉えたところでした。今回、施設整備ができなかったと仮定した場合、現状のままでの施設整備機能充実には限界があり、医師確保を含め病院機能の縮小が懸念されます。また、救急医療の継続は困難となり、最悪の展開として地域医療の崩壊につながることも想定されます。

**市民の安心・安全な
暮らしを確保**



保健医療課 課長 西田英司

必要とする重症救急患者を受け入

れる「二次救急指定病院」として、土日や祝日に関わらず24時間365日市民が受診できる態勢を取っていたに任じています。また、災害時における患者の発生に対応していただく「災害拠点指定病院」に位置づけられているなど、救急医療・高度医療に対応できる総合病院として本市の中核病院の役割を担っていただいています。

市長は、地域医療を守り、安心社会実現のために、庄原赤十字病院の借入金など42億円の一部に対して、財政支援する方針を表明しています。現時点では庄原赤十字病院が、何年度にいくらか借り入れるのかなど、資金調達計画が最終的に決まっています。具体的な支援内容については、これから調整していきます。

**医師・看護師の
確保に期待**



庄原の小児医療を考える ひとりの会 代表 上村千幸さん

母親の立場からすれば、庄原赤十字病院が新しく、きれいになるというのは率直に「うれしい」です。正直なところ、子どもを連れて、最初に庄原赤十字病院へ行ったらときは、施設が古いので不安になり

ました。患者側の勝手なイメージですが、きれいな施設だと何となく安心感が持てます。また、そこで働く医師や看護師の皆さんも快適な医療環境を望んでおられると思います。全国的な医師不足の中、私たちは医師を守る活動をしており、新しい施設になることで、医師や看護師の確保にもいい影響が出てくることを期待しています。

**財政健全化や
安全確保にも配慮を**



庄原自治振興区 区長 永井忠司さん

庄原赤十字病院は地域の中核病院として、徹底的に整備していく必要があると思っていましたので、今回の増改築工事を大変歓迎して

います。市外の病院へ行かなくてもいいように、市民に安心感が持てる病院、そして産婦人科の再開にも期待をしています。一方で、市からの財政支援が必要で、庄原保育所の移転や庄原中学校の建て替えなど、大型公共事業が相次ぐ中で、市の財政については不安もあります。また、地元では、工事期間中の安全確保など、さまざまな意見があります。これらの声に対して、市からの十分な説明と配慮をお願いしたいと思います。